

平成26年度学長裁量経費研究推進支援プロジェクト研究成果報告書

1. 研究の概要

プロジェクト名	スピリチュアリストの聖職者とその降霊術に関する調査研究		
プロジェクト期間	平成26年度		
申請代表者 (所属講座等)	タッド・ジェイ・レオナルド 国際共生教育講座	共同研究者 (所属講座等)	
取組方法・取組実績の概要	<p>学長裁量経費の一部を、米国の歴史的なキャンブチェスターフィールドにあるインディアナ心霊術者協会文書館で臨地研究をするための渡航費に当てた。この費用のおかげで入手できた一次資料は現在の研究でも使用しており、今後の研究にも役立つ。学長裁量経費による助成を受けるまでは、研究に必要な資料を入手することが難しかった。資料はインターネットでは公開されておらず、現地で多量の資料の箱を細かく一つ一つ調べる旧式の方法しかなかったことから、学長裁量経費のおかげで臨地研究の機会を得ることができ、必要な資料を入手できた。</p> <p>本研究の基本的方法は、授職心霊術聖職者を対象とした詳細なアンケートからなり、聖職者になる前の宗教的背景、心霊術者として過ごした年月、霊媒能力のために使用した道具、及び、専門家としての生活・霊媒能力・職務上の経験的側面を尋ねた。また、多くの聖職者に会い、職務に関して詳細に議論できた。さらに、聖職者になる際の経験過程の理解に役立つ一次資料や、霊媒能力開発の教育的側面における数年にわたる変化と進化に関する歴史的情報を入手できた。</p>		
研究成果の概要	<p>結果として、授職心霊術聖職者に配布したアンケートによるデータ収集と研究後に、アンケートのいくつかの回答をはっきりさせるための本研究にかかる費用を請求している際に、様々な被験者に会うことができた。多くの被験者は米国各地に住んでいるが、幾人かはキャンブチェスターフィールドにおり、個人的に会って彼らの回答に関して詳細に議論できた。</p> <p>本研究では、データが霊媒能力と職務における経験的側面（単なるロジスティックで人口統計的な側面ではない）を特徴づけている点で、アンケートの質的側面に焦点を当てた。彼らの回答は正直で様々な状況が示されていた。</p> <p>質的側面を研究に取り入れることで、現代心霊術の宗教における各被験者の感情や経験に対する深い洞察を得ることができた。本研究は実際の聖職者、彼らの背景と経験、宗教における霊媒としての職務に焦点を当てている唯一の研究である。</p> <p>研究結果により心霊術と霊媒能力への新しい洞察が与えられたが、これは私が米国での1年間のサバティカルの間に継続して行うテーマに対する詳細な研究の出発点となる。私はこの小規模の研究を拡大し、心霊術聖職者だけでなく、公証霊媒も含め宗教の現状を明らかにし、さらに、霊媒能力のある人々も含めその能力が職業及び精神面の生活にどのような影響を与えたかを調べる。私はこの研究結果と新しい研究を比較し、私の想像するように宗教が急速に高齢化しているか（聖職者や霊媒がかなり高齢であるか）、そして、これが広まっている宗教の現実かを調べることに関心がある。また、心霊術者は「宗教を渡り歩く者」（心霊術に恒久的に定着するまでに多くの宗教的伝統を経験する者）の傾向があるという私の結論を調べるために、心霊術霊媒と聖職者の宗教的背景にも関心がある。</p>		
外部資金獲得申請及び研究成果の公表方法等について〔 <input type="checkbox"/> （該当事項）にチェック方願います。〕			
外部資金獲得申請（予定）	<input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金 <input type="checkbox"/> 受託研究費 <input type="checkbox"/> その他 ()	研究成果の公表方法（予定）	<input checked="" type="checkbox"/> 学会（国内・国外）：SWCRS/ASSR 学会 <input type="checkbox"/> 新聞・図書・雑誌論文等： <input type="checkbox"/> その他：